

平成16年度学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	59	学校名	茨城県立土浦工業高等学校				課程	全日制	学校長名	石川 義 男						
教頭名	鈴木 定 治								事務長名	染 谷 裕						
教職員数	教諭	56	養護教諭	1	常勤講師	2	非常勤講師	3	実習教諭・実習講師・実習助手	13	事務職員	4	技術職員等	3	合計	85
生徒数	小学科	1年		2年		3年		合計		合計クラス数 (22クラス)						
		男	女	男	女	男	女	男	女							
	機械科	80	1	79	1	73	0	234	2	6クラス						
	電気科	41	1	37	0	50	1	128	2	4クラス						
	建築科	59	22	47	21	43	16	149	59	6クラス						
	土木科	38	2	32	4	25	0	95	6	3クラス						
情報技術科	31	9	30	10	32	6	93	25	3クラス							

2 目指す学校像

自主自律を基本に、自己開発や自己実現に必要な知識・技術を習得させるとともに、学校生活をとおして勤労観の育成を図る。
また、地域社会から信頼されるよう、生徒ひとりひとりの個性の伸長と豊かな人間性の涵養に努め、広い視野に立って社会の発展に寄与する産業人の育成を図る。

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項目	現 状 分 析	課 題
教務部	授業時間の確保，学校行事，教育課程の編成について検討する必要がある。	授業時間については，ある程度確保できているので教育課程の編成について検討する。
学習指導部	成績不振の生徒が多くなっている。資格試験の合格率が低い。	学習に対する自覚を促し，資格取得については生徒の意識高揚を促す方法を考えていく。
進路指導部	就職採用試験の不合格者数が多い。また，インターンシップの希望生徒が少なかった。	採用試験のための基礎学力をつける。インターンシップについては，全員実施の方向で考える。
生徒指導部	頭髪・服装で注意を受ける生徒が多く，生徒の規範意識が薄くなってきている。	基本的な生活習慣の確立と規範意識の高揚を図る。
特別活動部	部活動加入者が増えてきているが，まだ加入率は3割程度である。また，生徒数減少により生徒会の予算が減ってきている。	部活動の活性化を図る。生徒会予算については，部活動規定を見直していく。

4 中期的目標

- 1 生徒理解の深化，「心の教育」の充実・推進を図り，高校の担う役割を考えた生徒指導体系を確立させ，地域・社会から信頼される生徒・学校を目指す。
- 2 「ものづくり」の教育を基軸とし，各分野における基礎的な技術・技能を身に付ける。また，IT教育も含め，最先端の技術教育も取り入れ，専門高校としての充実を図る。
- 3 社会の変化に対応した教育課程の編成により，個々の生徒に対応した学習活動を図る。
- 4 資格取得・進路指導・部活動等を通して生徒に目的意識を持たせ，充実した学校生活の推進を図る。
- 5 授業・学校行事等を通して，知識・技能だけでなく「生きる力」を身に付け，社会に寄与する産業人の育成を図る。

5 年次ごとの重点目標

年次	重点目標	具体的目標	達成状況
1年次	規範意識の育成	欠席・遅刻等を少なくし，きちんとした服装・頭髪で登校するよう指導の徹底を図る。 生徒の規範意識の育成を図る。	
	授業に対する意識付け	授業時間の確保，授業時間の管理の徹底を図る。 授業の大切さの意識付けをし，基礎・基本的な学力の向上を図る。 専門教育としての基礎的・基本的な知識や技術の習得を図る。	
	資格取得の推進	資格取得の推進を図り，資格取得試験の合格率を上げていく。 進路指導を充実させ，自分の進路を勝ち取れるよう指導する。 部活動の活性化を図る。 弾力的な学習活動を考え，教育課程の編成を検討する。	
2年次	規範意識の確率	規範意識の確立を図る。 校内体制の確立を図る。	
	専門科目の基礎・基本の習得	専門教育としての基礎的・基本的な知識や技術の習得を図る。 個に応じた弾力的な教育活動を実践する。 選択科目の設定を多くする。	
	弾力的な学習活動の推進	資格取得の推進を図り，さらに上級の資格取得にも挑戦する。 弾力的な学習活動を考え，教育課程の編成を検討する。 多様な進路選択を考えた教育活動の推進	
3年次	基本的生活習慣の確立	生徒の自主性・自己責任による基本的生活習慣の確立 社会・地域に信頼される生徒・学校を目指した生徒指導の確立	
	専門高校としての教科指導の充実	各分野の専門的な技術・技能の習得に加え，最先端の技術教育も取り入れ，専門高校としての充実を図る。	
	充実した学校生活の推進	学校生活をとおして勤労観の育成を図り，自己開発や自己実現に必要な知識・技術を習得する。 学校生活をとおして，生徒の個性の伸長と豊かな人間性を育成する。 学校生活をとおして，広い視野に立って社会の発展に寄与する産業人の育成を図る。	